



横浜のチャレンジする中小企業を応援します!!

NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

No.33

春
2020

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町2-23
横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737
http://www.idec.or.jp

IDEC
YOKOHAMA



IDEC



Facebook

市内中小企業の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に関するご支援をいたします

■「特別経営相談窓口」設置

新型コロナウイルスの流行により、市内中小企業の資金繰りや経営の悪化が懸念されています。IDEC横浜は横浜市経済局及び横浜市信用保証協会とともに「特別経営相談窓口」を設置し、市内中小企業を対象とした経営全般に関する相談を受け付けています。

IDEC横浜では、感染拡大を予防するため電話やZoomを使ったWEB相談も開始しました。

■ 受付時間 平日 午前9時～午後5時

※予約制 (オンライン予約(<https://www.idec.or.jp/keiei/madoguchi.php>))にてご予約ください)

※オンライン予約で電話相談もしくはWEB相談を希望する場合は、申込フォーム摘要欄にその旨を記載してください。

■お問合せ先 IDEC横浜経営相談窓口電話：045-225-3711
(中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7階)



●資金繰りや経営安定に関する相談

【横浜市経済局金融課相談認定係】

■ 受付時間：平日 午前8時45分～午後5時

(中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7階)

電話：045-662-6631

●信用保証に関する相談【横浜市信用保証協会】

■ 受付時間：平日 午前9時～午後5時20分

・本所 (中区) 電話：045-662-6623

・北部支所 (港北区) 電話：045-470-5600

・西部支所 (西区) 電話：045-319-5335

・南部支所 (港南区) 電話：045-844-6621

■小規模事業者向け無料出張相談

小規模事業者の方にはIDEC横浜の専門相談員による支援チームが現場まで出向いて皆さまのご相談に対応しています。「特別経営相談窓口」同様にご希望の方にはZoomによるWEB相談にも対応いたしますのでお問い合わせください。

■ 受付時間 平日午前9時～午後5時

■お問合せ先 IDEC横浜 地域密着支援担当 電話：045-225-3719

■セーフティネット保証4号・5号認定、 危機関連保証に関する認定(制度融資メニュー)

中小企業の資金繰りが逼迫していることを踏まえ、横浜市経済局ではセーフティネット保証4号・5号認定に加えて、中小企業への資金繰り支援措置として、「危機関連保証」を初めて発動しました。この措置により、新型コロナウイルス感染症による影響を受け売上高等が減少している中小企業は、市町村長の認定を受けることで、一般保証やセーフティネット保証4号・5号認定とは別枠となる100%保証が利用可能となりました。

また、認定を取得した方向けの制度融資メニューとして、「新型コロナウイルス感染症緊急特別資金(売上15%以上減少型・別枠プラス)」を創設。このメニューでは、一般保証やセーフティネット保証の保証限度額とはさらに別枠(原則)で、最大2億8,000万円の利用が可能となり、信用保証料についても、横浜市が全額助成を行います。さらに、国はセーフティネット保証5号の対象業種を508業種とし、これに伴い、「新型コロナウイルス感染症対策特別資金(売上5%以上減少型)」について横浜市信用保証協会が新たに信用保証料の割引を開始しました(3月19日現在)。

●認定窓口【横浜市経済局金融課】

■ 場所：横浜市中区太田町2-23横浜メディア・ビジネスセンター7階

■ 受付時間：平日 午前8時45分～11時、午後1時～4時

※予約優先。予約は電子申請で受付いたします。

※申請手続や必要書類、予約方法については、下記Webサイトをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/yushiseido/moushikomi/shinsei.html>

■お問合せ先

危機関連保証の認定について

電話：045-662-8931 (相談認定係)

「新型コロナウイルス感染症緊急特別資金」について

電話：045-671-2592 (金融係)



■ Pick Up

横浜ビジネスグランプリ2020 ファイナル開催

最優秀賞は、「高収益と働きやすさを両立する金型交換装置」ニチエツ(都筑区) 中村高志さんが受賞!



授賞式後の記念写真

2月22日、「横浜ビジネスグランプリ2020ファイナル」をランドマークホールで開催しました。今回は全国から一般部門82件、学生部門37件の合計119件の応募があり、選考を通過した一般部門ファイナリスト8名及び女性起業家賞、学生部門優秀賞受賞者がプレゼンテーションを披露、「高収益と働きやすさを両立する金型交換装置」というプランのニチエツの中村高志さんが最優秀賞(グランプリ)を受賞されました。

中村さんは、2018年6月に都筑区にてニチエツを創業。プラスチック射出成形機に必要な金型交換を自動化するため、サラリーマン時代のベトナム出向経験をいかし、ベトナムの仲間とともに開発会社を立ち上げました。当社の金型交換装置は、従来品に比べ、交換が速い・サイズが小さい・低価格であることが大きな強み。審査員からもその経営者力や熱意を筆頭に、新規性・成長性

などの面から幅広く評価されています。

受賞後「非常に責任の重い賞を受賞し、改めて気持ちが引き締まる思いです」と中村さんはコメント。審査員長のユウグレナ出雲社長からも「今回はファイナリストのレベルが高く、熾烈な競争の中



最優秀賞を受賞した中村高志さん(右)

で選ばれた中村社長には皆の分も頑張っ、早く売上を伸ばして欲しい」との激励の言葉が贈られました。

一般部門優秀賞は「世界を彩る未来型フレグランス」のコードミー(西区)太田賢司さん、シニア賞は「架橋ポリエチレン(産廃)の再生原料化と事業化」のリピープラス(鶴見区)塩野武男さん、女性起業家賞は「『だっこ』から始まるアクティブですてきなママライフ」のcolobockle(金沢区)大ヶ谷有紀子さん、学生部門優秀賞は「XYZ軸加速度センサー道路異常検出システム」の東京工業大学の平賀良さん、そしてオーディエンス賞は「モバイル点滴デバイスで患者のQOLを向上する」のアットドウス(旭区)の中村秀剛さんがそれぞれ受賞しました。

出雲審査員長の総括では、「今後大幅に人口が減少していく日



出雲審査員長による総括

本では、生産性向上にスタートアップやベンチャー企業が欠かせない。ここ横浜で、レベルの高いビジネスプランが多く発表されたことは大変意義があること」とのメッセージが述べられました。IDEC横浜では、今回受賞された方はもちろん、横浜から羽ばたく起業家をこれからも支援してまいります。

横浜ビジネスグランプリの詳細はこちら <https://www.idec.or.jp/keiei/ybg/>

問 経営支援担当 045-225-3714

*開催にあたっては、参加者への手洗いの推奨やアルコール消毒薬の設置をはじめとした感染機会を減らすための工夫、感染拡大に向けた対策の準備をしております。

【お知らせ】IDEC横浜の本部移転について

IDEC横浜は、2020年夏に、本部を現在の横浜メディア・ビジネスセンター(中区太田町2-23)から、横浜情報文化センター(中区日本大通11)に移転します。移転先は、みなとみらい線「日本大通駅」に直結したアクセスの良い立地にあり、より一層利便性が高まります。IDEC横浜は、この移転を機に、各フロアの機能を最大限有効活用しながら、中小企業支援へさらに注力することで、企業や起業家の皆さまの成長・発展に寄与していきます。

現在の場所での業務終了日や移転先での業務開始日、移転後のお問合せ先等、移転に関する詳細については、改めて財団ホームページ等でご案内いたします。



■ Pick Up

IoT 技術相談を活用した在庫管理システムの導入 -センスビー(緑区)

センスビーは、電熱業界のパイオニアとして電気加熱技術、温度制御技術、はんだ付け実装技術を世界および日本国内の大手メーカーに提供している企業です。

同社の課題は、約500種類にも及び部品在庫の適正化と入出庫時のカウント漏れの解消です。両作業ともに紙ベースで管理し、その後、表計算ソフトに入力する作業をしていました。

しかし、転記ミスや記載漏れが多く、最終的には月末の棚卸で把握しているものの、欠品や過剰在庫などの問題が発生し、その費用が売上の数割を占めている現状をなんとか解決したいと悩んでいました。

そこでIDEC横浜のアドバイザーが、入庫・出庫・棚卸をIT化し、リアルタイムで部門間での情報共有を図ることを提案。データベース管理ソフト (Microsoft Access) をベースに作られた在庫管理ソフトを購入し、活用することになりました。

今後は、部品コードの整理を行った上で、可能な部分から新システムを稼働させる予定です。また、入出庫作業時には、私たちが日常利用するスマートフォン等と専用アプリを



導入した新しいシステムで、本格稼働に向けたデータの整理を行う従業員

活用し、正確なデジタル管理を検討、カスタマイズによる新システムとの連動を目指します。

IDEC横浜では、職員と専門家が一丸となって継続した支援を進めます。

技術相談の詳細はこちら <https://www.idec.or.jp/gijutsu/soudan/>

問 イノベーション支援担当 045-225-3733

地球環境のためにできる事、廃石膏ボードを活用した中小企業の取組

廃石膏ボードと廃プラスチックを混ぜた木質系樹脂から作られた「ブレデッキ」を開発した中央環境開発(金沢区)。ブレデッキは、見た目は木の板ですが、素材に木を利用していないため、耐久性(耐水、耐腐食)が高く、それ自体もリサイクル可能である環境に優しい製品です。

京都の会社と共同研究開発を行い、製品が完成した2015年、中国国際工業博覧会のIDEC横浜ブースに初めて出展しました。世界各国から来場者が集まるこの展示会で、海外のニーズが十分にあることを実感し、2年連続で出展、中国での製造販売を本格的に進めていました。

しかしその矢先に中国が突如、廃プラスチックなどの廃棄物輸入規制を発表、海外の製造計画が頓挫してしまいます。この時、代替の製造先として浮上したのが、東南アジアです。もともと森林資源豊かな東南アジアでは、森林減少やシロアリ等による腐食が問題となっており、ブレデッキは販売地域としてもぴったりの製品でした。IDEC横浜の海外進出支援助成事業を活用しながら、約1年半にわたり人件費や地価などの市場調査を行い、工場設立の場所をマレーシアに決定。今夏の工場稼働に向け準備中です。

「環境問題は、地球規模で取り組んでいる課題。国連が提唱しているSDGs^(*)に、ブレデッキを通じて貢献していきたい。廃材から作られるブレデッキは、「持続可能な開発目標」にマッチする製品である。」と力強く語る太田社長。令和に変



モルディブ(インド洋の島)の海岸で使われているブレデッキ

わった2019年に15周年を迎えた同社は、次の目標へ向け新たなスタートを切りました。

※SDGs・・・2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

海外進出支援助成事業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

IDEC 横浜 支援事例集 2020 を発行！

IDEC横浜が様々な支援メニューを駆使し、成果につながった最新の支援成果「20事例」を紹介しています。各企業の「成功のポイント」や、専門家によるアドバイス「経営改善のポイント」など、経営に参考となるような情報をまとめ、掲載しました。

主な事例

- 【小規模事業者】女店主が1人で切り盛りするカラオケ居酒屋
- 【経営改善】金型屋の事業承継 父が娘へ伝えるものづくり
- 【女性起業】3DCADプリンターのノウハウでモノづくりの未来に貢献
- 【海外】高性能・高品質の日本製靴下を企画製造。中国市場の開拓

個別配付（無料）も可能ですので、下記までお問い合わせください。IDEC横浜のWEBサイトからも閲覧できます。

IDEC横浜 支援事例



事例集の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/idec.or.jp/renkei/shienseika/>

問 地域密着型支援担当 045-225-3725

横浜金沢 ハイテクセンター・ テクノコア

- 余裕の広さ！
65㎡～126㎡、多様なスペース
- 研究・開発・連携に好立地！
ウエット仕様、実験レベル「P2」対応
- アクセス
金沢シーサイドライン「産業振興センター駅」から徒歩1分
首都高速湾岸線「幸浦ランプ」から2分
横浜横須賀道路「並木IC」から4分(金沢区福浦 1-1-1)



入居者募集中

専門家の無料アドバイス！
経営相談・技術相談・
海外展開等支援あり

詳細は、金沢センター TEL 045-788-9570 まで。

横浜新技術創造館 リーディング ベンチャー プラザ



入居者募集中

- 多様な広さ！
50㎡～100㎡、多様なスペース
- バイオ関連事業対応！
研究開発から 製品開発まで対応可、実験動物の飼育可能
- アクセス
JR鶴見線「鶴見小野駅」から徒歩5分
首都高速横羽線「生麦インター・汐入インター」から5分
(鶴見区小野町75-1ほか)

詳細は、鶴見末広センター TEL 045-508-7450 まで。

事業承継時に経営者保証でお困りのみなさまへ

経営者保証を不要とする事業承継特別保証制度

- これから事業承継される方、承継後3年未満の方がご利用できます。
- 経営者保証不要
- 経営者保証コーディネーターによる確認を受けた場合には、大幅に信用保証料率が軽減されます。
- 経営者保証ありの既存借入金について経営者保証不要で借換可能
※ご利用には資格要件等がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

信用保証協会は、中小企業・個人事業主のみなさまが金融機関から事業資金を借入する際の公的な保証機関です。

金融機関紹介をご希望される方のご相談も承ります。

お気軽にご相談ください

横浜市信用保証協会

検索



広告

横浜市信用保証協会

横浜市中区山下町22番地
TEL: 045-662-6623

広告

くらしとしごと、夢ある未来

私たちはICTを通じて、豊かな地域社会の発展と夢ある未来の創造に貢献します。

Yec
横浜情報
ワイヤーソリューションズ

<http://www.yec.co.jp/>



広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。

編集 後記

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための取組として、セミナー・イベントの中止や延期、施設貸出の一時休止等で皆さまにはご不便ご迷惑をおかけしております。日本では季節を問わず様々な感染症が流行していますので、うがい、手洗い、咳エチケット等の基本的な感染予防対策を、日頃から習慣づけましょう。IDEC横浜では、新型コロナウイルスに関する件をはじめ、様々な経営課題に関する相談を電話等で行えるよう体制を整えておりますので、是非ご利用ください。